

窪田議員（自民議連）

令和5年6月29日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）県立図書館を活用した読書習慣の形成について

子供に読書習慣をつけさせるためには、県立図書館が持つノウハウや人材をしっかりと活用していくことが必要だと考えるが、学校と県立図書館との今後の連携についてどのように考えているのか、教育長の所見を伺う。

（答）

学校は、子供たちに読書の楽しさや本の素晴らしさを伝える最も身近で重要な場であり、県立を始めとする公共図書館には、学校と連携を図りながら、児童生徒の読書活動を促進する役割が期待されております。

このため、県立図書館では、これまで、学校に対して、図書の貸出や選書等に対する助言を行うとともに、教職員向けに図書館活用講座を開催するなど、県立図書館の持つノウハウを生かした様々な連携を行ってまいりました。

また、令和4年度からは、学校図書館の選書や環境整備の参考になる“場”として、館内に「ひろしま子どもサイエンスライブラリー」を開設するとともに、読書推進につながるよう、県立学校等に数十冊の本をセットにして年間に複数回貸し出す事業を実施し、子供の読書活動の習慣化に向けた支援を行ってきたところです。

令和5年度におきましては、新たに配置した2人の教育職経験者を中心として教員ならではの視点を取り入れた新規の取組を行っております。

具体的には

- ・ 図書館をツアー形式により社会見学として利用できる「県立図書館わくわく見学」、
- ・ 普段公開していない地下書庫などを特別に見学できる小・中学生向けの「バックヤードツアー」、
- ・ 本の楽しさをクラシック生演奏とともに届ける館内コンサート「音楽と図書館」

といったイベントを実施し、児童生徒の図書館への一層の来館を促しております。

今後とも、図書や図書館運営に係る専門性を持つ司書と、教員ならではの視点を持つ職員が一体となった取組を通じて、児童生徒の読書への関心を高め、読書習慣の定着につながるよう、学校と県立図書館の連携を更に強化し

てまいります。